

2024 年度第 3 回 N P O 法人共同保存図書館・多摩理事会 議事録

1 日 時 : 2024 年 5 月 21 日 (火) 午後 8 時 00 分から午後 9 時 00 分

2 方 法 : ZOOM アプリを媒介にしての遠隔会議

3 議決権のある理事 : 9 名

出席者 : 座間直壯、雨谷逸枝、清田義昭、小池信彦、齊藤誠一、田中ヒロ、中川恭一、堀 渡

欠席者 : 保坂一房

事務局員の参加 : なし

4 議事

(1) 第 1 号議案 会員の動向について【報告】

・ 5 月 21 日 (本日) 現在

・ 正会員 : 個人 77、団体 2 (計 79) ・ 賛助会員 : 個人 27、団体 2 (計 29)

合計 : 個人 104、団体 4 (総合計 108 名・団体)

※ 新年度になってから総会直前 = 定足数確定までの経過

・ 4/23…… 新年度からの本人申告による入退会、正会員から賛助会員への変更

・ 正会員 : 個人 80、団体 2 (計 82) ・ 賛助会員 : 個人 27、団体 2 (計 29)

合計 : 個人 107、団体 4 (総合計 111 名・団体)

・ 総会までに、過去 2 年の会費未納が解消されなかったことによる会員資格喪失

正会員 : 個人 3。それにより会員数に変更。

※ なお「会報が読める心身の状態でない」と聞く正会員が 1 名いるが、会費未納は 2023 年度分のみなので、会員資格喪失とはしていない。

「ライブラリアン講座」受講者で新年度から正会員として入会された方が、1 名あったが、漸減傾向は止まっていない。入会意志を表明されていた受講者はもう少しいる。

※ (会員継続の意志表明と見做せる) 新年度の会費の入金状況について

・ 4 月、5 月と連日振り込みがあり、前年度の分も含めてだと、正会員が全部で 59、賛助会員が 18。賛助会員が若干少ないが順調に入ってきている。寄付も今の段階で 15 万円近くいただいている。

(2) 第 2 号議案 2024 年度通常総会の内容、結果について【報告・討議】

【報告】

・ 総会及び講演会の参加状況

・ 総会出席者は 63 名 (うち本人出席 17、書面表決票 46)。(定足数 40)

他に遅れて参加した方が 1 名いるが、冒頭の出席者報告終了後の遅刻出席者の扱いを決めていなかったため、この数には入れていない。

・ 総会出席者は全員が講演会に参加。講演会へのみの参加は、正会員 2 名、賛助会員 1 名、会員外 2 名。講演会参加者は、合計 22 名。

会員外の方の講演会情報入手先（アンケートへの回答）

国分寺市民：「多摩デポ通信」

府中市民：J L A ウェブマガジン

- ・コロナ禍を経て、会員が集まるノーマルな 2024 年度通常総会を行えた。
- ・議案への質問や意見は、会場では出なかった。
- ・終了後の懇親会で、「ライブラリアン講座」について「有料でいいので気になる講義はスポットで受講できる仕組みがあると後輩に勧めやすい」という意見があった。
- ・書面表決票に添えられた意見に、「会員名簿が公開されると参考になる」との意見があった。
- ・総会後に講演会が控えているので、時間延長できず立ち止まれないのだが、リアルに会員が集まる貴重な機会なので、提案者と会場参加者、あるいは参加者同士のやり取りが、会場内で保証できれば良いのに、と惜しい気がした。
- ・初めて使った会場だが、会場管理はおおらかで、1時から5時の使用時間を目いっぱい使えた（開場予告を変えれば、午後1時30分開始が可能ではないか）。

#### 【討議】

- ・開始時間を前倒しすることは検討してもいいのではないか。
- ・使い勝手の良い施設だった。

### (3) 第3号議案 総会記念講演会の内容、結果について【報告・討議】

#### 【報告】

- ・講師が作成された PowerPoint 画面は 46 枚あり、内容豊富な講演だった。
- ・事前打合せで「標準よりやや短めの 1 時間 20 分の講演時間だが、そのなかでできれば質疑も行えればいい」と伝えてあったが、やはり時間不足気味になってしまった。会場内で参加者からの反応は聞けなかった。
- ・（終了後の喫茶店での講師のお話から）  
NDL の業務出張で何十回も講演はしているが、自由に話していいと言われたのはほぼ初めて。第 1 部の、なぜ NDL は掲げた理念に対しこんな不十分な図書館だったのかは自由に話せるならぜひ入れたかった。第 3 部の「NDL 蔵書デジタル化と個人配信の進行は、他の図書館には『現物保存不要』の外圧をもたらすことを恐れている。それに対抗する理論を図書館界は協力して生み出さなくてはならないのではないか。情報重視の大学図書館はともかく、せめて公共図書館界だけでも」
- ・多摩デポ役員からは、TAMALAS 検索の中で、NDL の未所蔵図書で多摩地域の公共図書館で蔵書になっているものが頻繁に目につくこと、NDL の書誌情報の不備も見つかる話をし、それらの情報をどう生かせるかを持ちかけた。今後も多摩デポへの協力、アドバイスをお願いした。
- ・参加者からは、講演のブックレット化や、再度の講演の希望が出ていた。
- ・講師からは、後日、PowerPoint の PDF と講演要旨の文章が、提供された。

#### 【討議】

- ・充実した講演で、今後の多摩デポ活動にも示唆を与える内容だった。講演をブックレットにしたいという議論は十分考えられるが、原稿作成上の問題と製作費の捻出の問題がある。
- ・講演全体を文章化しブックレットにすると、通常の 54 ページでは足りないような気がする。テープ起こしでいいのか、重点を絞って書き下ろしてもらおうか、録音を聞いて提案したい。
- ・講演の最後部分が運動的なメッセージでは？ 質疑の時間は取れなかったが、講演者は最後の画面までちゃんと言い切れて終わったのでよかった。
- ・講演後の質疑の時間が 20 分くらいは欲しかった。

#### (4) 第 4 号議案 新年度の当面の事業展開について【報告・討議】

##### 【報告・提案】

- ・総会で、提案した新年度事業が承認されたので、見通しをもって動き出したい。まだ事務局会議ではまとまった提案が用意できていない。

##### (1) ISBN の遡及入力事業について

- ・府中市の児童書ボランティアの作業反省会と一般書のデータ検証の実施  
(ボランティアの方は意見交換会に 3 人、総会記念講演会に 1 名参加され、反響がよい。  
次の依頼を待っていただいている印象がある)
- ・基本的に行う方向だが、次に予定している一般書は量が多いのと、カーリルからより改良された機械推定データが出されるか、投入労力に対する成果の問題などは検討が必要か。

##### (2) 第 2 回ライブラリアン講座について

- ・担当が作った企画書(案)を説明した。カリキュラム内容は第 1 回を踏襲するが、田中久徳氏の講義を 40 分の 1 コマとし、新たに地域行政資料の講義を入れたい。講師を探している。
- ・参加費は 6 千円にしたい。
- ・検討事項：①募集人員は 12 名でよいか。最低実施人員を 10 名にするか？  
②応募条件は、多摩地域の図書館で働く人だけでなく、多摩デポ会員を加えるか？  
③公費参加をどうするか。公立図書館に研修費があり、受講希望者が研修費で参加できれば望ましいが、難しい場合、公費参加できるのが業務受託業者の職員だけになる可能性がある。

##### (3) カーリル定例会の再開について

- ・6 月から、ISBN の遡及入力と地域資料を使った「多摩デポ統合検索」の書誌割れと書誌統合の研究を再開させる。ISBN の遡及入力では、これまでの経過を論文にまとめる必要がある。どこまで対応できるか。

##### (4) 多摩デポ講座

- ・田中久徳氏の ZOOM 講演会はどうか。総会講演会の第 3 部の内容を掘り下げて。講演会では持てなかった参加者とのやり取りが作れるとよい。

**【討議】**

- ・ライブラリアン講座は有料制にせざるを得ないが、公費・私費問わず募集とするか？
- ・公費支出の問題は、公務員が公費参加することにならなければ、現状では業務受託会社の負担ということになる。役所の場合、研修費を最初から見積もってなければどこかから流用せざるを得ない。この時期の募集では公費負担は難しいだろう。

(5) 第5号議案 東京自治会館の建替に伴う、東京市町村自治調査会資料室の構想作りへの協力について **【報告】**

**【報告】**

- ・建替後の東京自治会館に設置予定の広域行政の資料室の構想作りの業務は、日本ブッカー社が受託した。先に自治調査会から依頼され相談にあずかっていた多摩デポ理事の齊藤、座間、中川、堀、元小平市立図書館長の蛭田氏が有識者委員に委嘱された。さらに青山学院大学教授の小田光宏氏を加え、有識者会議として5月9日に第1回会議を開いて発足している。
- ・先行する施設の視察や調査を行い、多摩地域や島しょ地域の自治体や同地域の公立図書館にアンケートを取りながら、秋までに提案書をまとめていく。
- ・あくまで個人として委嘱された活動だが、4人の理事が関わるので、依頼内容や資料室の構想について、本日伝えられることを報告した。

(6) その他、情報交換

- ・東京都立中央図書館が今年3月に発行した『東京都立中央図書館50年史』の内容について
- ・日本図書館協会資料保存委員会が発行する『ネットワーク資料保存』への鬼倉正敏（事務局員）の執筆依頼について

**【多摩デポ関係記事】**

- ・特になし

**【共同保存図書館関連論文、記事】**

- ・特になし

**【今後の予定】**

- ★事務局会議(2024年度第5回)                      5月28日(火)午後8時より、(Zoom会議)
- ★カーリルとの共同研究 定例会                      ?月?日( )午後8時より、(Zoom会議)
- ★次回理事会 第4回理事会                      6月18日(火)午後8時より、(Zoom会議)

5 議事録署名人の選任

議事録署名人として 2 名を選任することを諮り、齊藤理事、田中理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2024 年 5 月 21 日

議長 座間直壮

議事録署名人 齊藤誠一

議事録署名人 田中ヒロ